



平成25年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 福岡市		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 道路下水道局総務部営業課 戸畑 沙織 電話092-711-4507 Fax 092-733-5596 tobata.s01@fukuoka.city.lg.jp
代表者氏名 福岡市長 高島 宗一郎		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
部門名 広報部門①行政広報部門	事例名 「下水道フェア福岡inチャンネル」の開催	
事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)		
1. 日時 2. 会場 3. 内容	平成24年8月26日(日) 10:00~17:00 キャナルシティ博多(博多区住吉1-2)、ぽんプラザ(博多区祇園町8-3) (1) 楽しく学ぶ・授業ステージ 局職員・大学生(先生役)と、お笑い芸人(生徒役)によるバラエティスタイルのステージ。親子も生徒役で参加し、下水・雨水・河川について授業形式で事業等を紹介。 (2) 体験して学ぶ・体験コーナー 「水質実験・微生物観察」「廃油石けんのシャボン玉作り」「オリジナルマンホール缶バッチ作り」「運河バックヤードツアー」を実施。 (3) マンホールデザイン表彰式 応募総数327点の中から優秀賞1点を表彰。 (4) ぽんプラザPRコーナー 常設パネル展示と、大学生によるミニ水族館「水辺の生き物ウォッチング」を実施。 (5) スタンプラリー 3つ体験すると、ぽんプラザで景品と交換。	
4. 来場者数 5. 報道	18,758人 (3年目で最多) 2社より取材があり、当日のニュースで放送。	
	 	
エントリー事例の特徴 (下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点など)		
○産学官一体となった下水道広報の実施 集客力の高い大型商業施設で開催することで多くの市民にPRできるとともに、チャンネルシティ博多の雨水・下水の再利用事業を見学することで、普段見えにくい下水処理施設を身近に感じてもらった。また「はかたわん海援隊」の参加により、企業や行政以外の活動紹介等を通して、環境保護の大切さもPRできた。		
【チャンネルシティ博多】 雨水は運河に利用し、飲食店から出た厨房排水は施設内で処理しトイレの洗浄水に再利用している。		
【はかたわん海援隊】 福岡大学工学部社会デザイン工学科(土木専攻)の学生25名からなるボランティア団体。 博多湾の環境保全を目的に、樋井川・室見川を中心に定期清掃や地域の子供たちを対象とした環境学習会を実施している。 <a href="http://blogs.yahoo.co.jp/gagelard">http://blogs.yahoo.co.jp/gagelard</a>		
	